

ひと まち 輝く

キラリ★ kirari

箕面市立みのお市民活動センター

(指定管理者:(特活)市民活動フォーラムみのお)

〒562-0013 箕面市坊島4-5-20

みのおキューズモールWEST1-2F

TEL. 072-720-3386 FAX. 072-720-3387

<http://www.shimink.jp/>

Vol. 8

令和3年(2021年)3月発行



トピック

海外から地域まで。見過ごされがちな
子ども若者たちの声に寄り添いたい

選択肢の一つと捉えられるぐらい
身近になってほしい

NPO法人 FAIR ROAD
代表 阪上由香さん



海外から地域まで。見過ごされがちな 子ども若者たちの声に寄り添いたい

近年、学校内で定期的にカフェが開催される学校が大阪や神奈川で増えているそうです。それも、教職員ではなく外部のNPO法人が運営している居場所カフェ。箕面や大阪市内の学校で居場所カフェを運営しているNPO法人 FAIR ROAD(フェアロード)代表理事の阪上由香さんにお話をお聞きしました。

子どもたちの声が集まる校内居場所カフェ

校内居場所カフェは、学校内に設けられた、誰でも気軽に立ち寄れる「カフェ」です。相談室とは違い、予約しなくても相談がなくてもいい。紅茶やココアを飲んだりスタッフと何気ないおしゃべりしたり、ただただぼーっと時間を過ごしてもいい、見守りがある中で多様な人たちと交流ができる安全安心な場所です。たての関係にいる先生・親、横の関係にいる友人に話すのはためらうけど、ななめの関係であるカフェのスタッフだから話せる話がある。そうして生徒の困りごとに早期に気づき、拾い上げる。そこから支援につながることもあります。

NPO法人 FAIR ROADは現在、大阪府内で高校3校、中学校2校でカフェを運営していて、そのうちのひとつが箕面東高校内にある「めいぶるカフェ」です。

原点は塾講師時代に出会った子ども若者たち

大阪市内の学習塾で講師をしていたとき、「時間通りに来れない」「何度言っても宿題も筆記用具も持って来ない」、勉強をするというステージにあがることできない若者たちと家庭に数え切れないほど出会いました。

とことん向き合っ分かったのは、家庭それぞれの困りごとがあり、そしてそれはもう家庭ではどうしようもないほど複雑になっているのに頼れる先が無い、もしくはわからなくて、結局学校も

社会も家庭の責任にしていること。

塾講師というななめの関係で相談に乗りつけて5年目、相談の電話が鳴り止まない状況に、精神的にしんどくなって燃え尽きてしまいました。

一度日本を離れ、タイとミャンマー(ビルマ)の子どもたちとの文化交流を行っている団体のスタディツアーに参加し、絶対的貧困状態で生活する“スラム・難民キャンプ・山岳地帯”の子ども若者や家庭に出会いました。

しんどさを抱えていると言葉や仕事や余暇の過ごし方など様々なことが“狭く”なります。側に寄って来る子どもたちに余裕のない荒々しい声をかけながらも、時折見せる表情と眼差しは優しく、子どもたちへの“期待や見守り”を感じました。それは私が塾講師時代に出会った家庭と同じだったのです。

子どもの育ちを家庭だけの責任にしてはいけません。

相対的貧困状態にある日本でも活動していく必要を感じ、困っているときだけ助けるのではなく、彼らの“日常”に関わる活動＝居場所事業を活動のベースにすることを決めました。

国内外関わらず、大切にしているのは一人ひとりの声を聞き、“日常”を支えて広げること。

一人ひとりの凸凹に公正(FAIR)な寄り添いと、平等(EQUAL)な機会がある社会を目指しています。

楽しく続けていけるコツ

今も子どもたちに関わる活動をしていますが、昔のように燃え尽きずに楽しく続けられているのは、プライベートとの線引きがうまくなったからというのもあります。自分が住んで子育てしている地域と、活動している地域は、あえて分けています。最寄り駅に帰ってきたらスイッチオフ。活動は大変ですが笑っている時間の方が多いですよ。

先日も、生徒会新聞の「箕面東高校のいいところ」という特集で、めいぶるカフェを挙げてくれる生徒たちがいて、記事内で紹介されていました。卒業間近の3年生がめいぶるカフェのスタッフへ手紙を書いてきてくれたこともすごくうれしかったです。

校内居場所カフェのこれから

4年前に私たちが箕面東高校に関わり始めた頃に比べると、「学校内居場所カフェ」の存在も徐々に認知されてきました。箕面東に限らず、他の高校や中学校にも広まってほしい事業です。学校の中に地域の多様な大人が入れば子どもたちのロールモデル(生き方のモデル)が豊かになり、人生のストライクゾーンが広がると思いませんか。校内で地域の団体たちが集うシェアオフィスがあっても面白そうですね。



海外活動での1コマ



阪上由香さん(NPO法人 FAIR ROAD代表)

1986年生まれで2児の母。大学では児童教育学を専攻。卒業後大阪市内で学習塾を経営、その後タイ・ビルマの教育行政の問題と出会いNPOを設立。学校・行政・地域を「かさねる」事業づくりに挑戦中。大阪市内で地域コーディネーターも務めている。

FAIR ROAD Information

NPO法人 FAIR ROAD(フェアロード)

住所: 大阪市天王寺区上本町3-5-16-1001
FAIR ROAD事務局

連絡先: TEL 090-1074-9863

Mail: info@fairroad.org HP: <https://fairroad.org>



選択肢の一つと捉えられるぐらい身近になってほしい

箕面市役所にほど近いマンションの一室。シェルターとは思えないぐらい心地よい場所に、ネコさんたちも幸せそう。現在はリーフノットの代表 飛田 俊さん。十数年間全く異なった業界で働くビジネスマンだったそうですが、あるタイミングで動物保護活動へ。きっかけや想いをお聞きしました。

「もし今日が人生最後の日だとしたら、私は今日やろうとしたことを本当にやりたيدらうか」

スティーブ・ジョブスの名言です。企業に勤めていた当時の僕には、この仕事では無理だなと即答でした。なにげなく幾度かテレビで動物たちの殺処分問題を観ているうちに「自分でもなにか役に立てるかもしれない…」と思って動物保護施設へ見学に行ったのがこの活動を始めるきっかけです。約4年間保護施設へ従事して人と動物たちを繋ぐ大切さについての思いを強くしました。僕が接している動物たちはモノではなく、はかない命です。行き場のない命を一番に考えて行動したいと思い、自分で新しく保護施設を立ち上げました。小規模で運営しているので忙しさと重圧感がありますが、反面、ネコの個性がわかってそれぞれに気を配ることができ、里親さんが見つかるうれしさは倍増です！

動物保護施設へ見学に行っていたかとわかりますが、あまりにも安易に飼って、自分たちの身勝手な都合で捨てる人が多すぎます。家族だと嫌になったり病気になったりするからといって、捨てますか？暴力を振るったり、粗末

に接しますか？人と同じように動物にも大切に愛情をもって付き合ってもらいたい。動物を迎え入れるなら動物保護施設や保健所も選択肢の一つと捉えられるぐらい身近になってほしいと思い、活動の場を広げていきたいと思っています。

小さな子どもにも興味をもってもらいたくて、絵本の執筆活動をはじめました。思いやりの絆が深まればと。今後は講演などの活動もしてみたいですね。



おれは待っている

作：飛田 俊
絵：みけみけ

Reef Knot Information

一般社団法人 Reef Knot

TEL: 072-737-4420

H P: <https://reef-knot.net/>

promo

広報 promo 検索

記事はウェブサイトで随時掲載。

NPO広報サポーターpromo(プロモ)は、本誌発行団体の広報サポーターが地域のNPOの活動現場を取材レポートしています。
<http://promo.minoh-npo.com/>

モットーは「前向きに」

現在、演劇や音楽など多くの文化活動が頓挫する中、公演を続ける劇団「すずしろ」。箕面で活動する全員60歳以上のシニア劇団ですが、過去にニューヨーク公演も行った実力派です。昨年再び予定していたニューヨーク公演はコロナ禍で中止になりましたが、倒れる時は前向きにがモットーの「すずしろ」。その公演は無観客のライブ配信という形で実現されました。当初は皆のエネルギーの着地点が必要だったからですが、やってみると新たな可能性が広がり、国内だけでなく海外からも声援をいただき励みにつながっているそうです。「文化活動に関わる人たち共通の悩みで不要不急の解釈が難しい。こんな時にシニアが集まると思われるかもしれないですが、私たちにとってはライフワークであり必要なんです。今はどうやって安全で、守るべきことをきちんと守ればできるということを証明するのも私たちのミッションの一つだと思っています」と語るの代表の秋田啓子さん。現在は次回公演に向けて稽古に励んでいるとのこと。ライブ配信された公演は『シニア劇団「すずしろ」ちゃんねる』でまだ観れますので、ぜひご観劇ください。

写真:小林志穂



クリスマスライブ配信 公演「扉をあけて」のラストシーン。左から3番目が秋田さん

シニア劇団「すずしろ」ちゃんねる

https://www.youtube.com/channel/UCXq8gZlfucLJHkaG_iITkrw



劇団「すずしろ」 Information

ご連絡はホームページの「お問合せフォーム」にご入力ください。

HP: <http://suzushiro-minoh.com/>

